

第30回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和4年3月28日（月）午後1時から午後3時まで		
開催場所	オンラインを併用したハイブリッド形式 ※本会場は奈良市役所 北棟2階 203会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、石井委員、岡田委員、金野委員、亀本委員、國原委員、栗本委員、田畑委員、東委員、宮島委員、山下委員 <b>【計12人出席】</b>	
	事務局	<b>【子ども未来部】</b> 鈴木子ども未来部長、野儀子ども未来部理事、米田子ども未来部次長、玉置子ども政策課長、田村保育総務課長、安井保育所・幼稚園課長、池田子ども育成課長、阪口子育て相談課課長、東浦児童相談所設置推進課長 <b>【保健所】</b> 藤岡母子保健課長 <b>【教育委員会事務局】</b> 五味原教育政策課長、細川地域教育課長、伊東学校教育課長	
開催形態	公開（傍聴人：0名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 審議事項 （1）令和4年度奈良市子ども会議について （2）第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画令和4年度中間見直しについて （3）令和4年度奈良市教育・保育の提供体制について 2 報告事項 （1）保育所等の保育を必要とする要件に係る労働時間の下限の変更について （2）第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定について （3）奈良市子どもセンターの開設について		
決定又は取り纏め事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度奈良市子ども会議については、意見を付して承認された。</li> <li>・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画令和4年度中間見直しについては、原案通り承認された。</li> <li>・令和4年度奈良市教育・保育の提供体制については意見を付して承認された。</li> <li>・保育所等の保育を必要とする要件に係る労働時間の下限の変更について、資料を提示し確認いただいた。</li> <li>・第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定については、資料を提示し確認いただいた。</li> </ul>		

・奈良市子どもセンターの開設については、資料を提示し確認いただいた。

## 議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

### 1 審議事項

#### (1) 「令和4年度奈良市子ども会議」について報告

- ・事務局より、「令和4年度奈良市子ども会議」について説明を行った。
- ・委員より、決まった枠組みの中で意見を聴くというだけではなく、テーマを決めるところから子どもたちに関わってもらうものにしていってはどうかと思う。
- ・委員より、過去に遊び場というテーマで会議をして提案されてきたものは、まったく途絶えてしまっているように思う。子どもたちが考えた提案を、その後どう活かしているのか検証する必要があると思う。
- ・委員より、子どもセンターが開設され、大型の屋外・屋内遊び場ができたことと、アンケートで多くの子どもたちから「遊び場が欲しい」という意見が非常に多かったことから、子ども会議のテーマとして取り上げる必要があると思った。また、子ども会議を始める前に、子どもたちの提案が市の事業にどう反映されているのか説明責任を果たすべきだと思う。
- ・委員より、過去の子ども会議の提案はどの程度進めてこられたのか、また、その延長により今年度の子ども会議テーマに発展したのか、という質問があった。
- ・事務局より、公園を遊び場として自由に活用できないかという提案を子どもたちからいただいた際は、地域と調整をしながら対応したが、非常にハードルが高かった。地域の資産を活用して開放するのも一つだが、コロナの関係で制限されてきた中で、逆に新しい遊び場を提供してはどうかと考え、今年度のテーマを設定したと回答した。
- ・委員より、今度の子ども会議は、市全体の子どもの遊び場を確保できるような形での新しい提案でなければいけないと思う。また、以前の「遊び場」がテーマの会議で提案された内容を実現していくかたちもよいと思う。

#### (2) 「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画令和4年度中間見直し」について報告

- ・事務局より、「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画令和4年度中間見直し」について、説明を行った。
- ・委員より、中間見直しは行わず、平常時の計画値を設定するというのは、コロナの影響を加味した上で妥当だと思う。また、今後アンケート調査を行うときに、いろいろな設問に利用しなかった理由を問う箇所があると思うが、「コロナ感染が

怖くて利用しなかった」という項目を設ければ、コロナの影響でどの程度利用しなかったのか調査できると思う。また、今後の奈良市の貧困対策の基礎資料とする「子どもの生活に関するアンケート」から、子育て世帯の生活環境や経済状況をしっかりと把握していただきたい。

- ・委員より、アンケートについて、利用しなかった理由を問う設問に対し、園の方から家庭保育に協力してほしいと要請があったため利用できなかったという項目も必要だと思う。
- ・委員より、資料3の16ページのQ13「現在利用している教育・保育事業をすべて教えてください」について、項目の中に保育園が実施している一時預かりは含まれているのか、という質問があった。
- ・事務局より、保育所や地域子育て支援センターの一時預かりは含んでおらず、次回アンケートを行う際は、保育所と地域子育て支援センターの一時預かりも選択肢として入れたいと回答した。

### (3) 「令和4年度奈良市教育・保育の提供体制」について報告

- ・事務局より、「令和4年度奈良市教育・保育の提供体制」について説明を行った。
- ・委員より、再編や民間移管に対して、やってみてどうだったのか、その後の状況をしっかりと評価したうえで、次の再編計画や民間移管に活かす形で丁寧に進めていただきたい。
- ・委員より、白藤学園おおみや保育園について、駐車場は、なら100年会館の地下駐車場を確保したとのことだが、雨の場合のことなどを考えると、本当に現実的なのかと思う。それが本当に奈良市の基準を満たしているのか、送迎する保護者は疑問に思うのではないか。

## 2 報告事項

### (1) 「保育所等の保育を必要とする要件に係る労働時間の下限の変更」について

- ・事務局より、「保育所等の保育を必要とする要件に係る労働時間の下限の変更について説明を行った。
- ・委員より、就労時間の下限を今後10月より変更するにあたって、手続き等はどうに進めるのか、という質問があった。
- ・事務局より、パブリックコメント等は実施していないが、全国の中核市に対し就労時間の下限について調査を行ったうえで、市として方針決定を行った。今後は

保護者や各園に広く周知させていただくと回答した。

- ・委員より、就労時間の下限が64時間に引き下げられるのは、子育て家庭にとってやさしいことだと思うので、園の選択肢を増やすために、保護者に対して早めに周知をしていただきたい。その一方で、門戸が広がると、バンビーホームがパンク状態になり、新1年生の預け先がなくなり混乱してしまうのではないかと懸念がある。

(2)「第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定」について

- ・事務局より、「第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定」について説明した。
- ・委員より、貧困家庭や本当に支援を必要としているところには、なかなか知らせが届かないこともあるので、アンケートを実施するうえで、そういったところも拾い上げられるよう、工夫をしていただきたい。

(3)「奈良市子どもセンターの開設」について

- ・事務局より、「奈良市子どもセンターの開設」について説明した。
- ・委員より、未就学児と一緒に、きょうだいを連れて相談に来る保護者もいるかと思うが、小学生くらいの子どものが遊んでいても違和感のない子どもセンターであってほしいと思う。

資 料

- 【資料1】奈良市子ども・子育て会議委員名簿
- 【資料2-1】令和4年度奈良市子ども会議（案）について
- 【資料2-2】令和4年度奈良市子ども会議案内チラシ（案）
- 【資料2-3】令和4年度奈良市子ども会議案内ポスター（案）
- 【資料2-4】ユニセフ日本型CFCI実践自治体承認について
- 【資料3】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画令和4年度中間見直しについて
- 【資料4-1】令和4年度奈良市教育・保育の提供体制について（案）
- 【資料4-2】公私連携幼保連携型認定こども園等の新設について
- 【資料5】保育所等の保育を必要とする要件に係る労働時間の下限の変更について
- 【資料6】第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン概要案
- 【資料7】奈良市子どもセンターの開設について
- 【資料7（添付）】奈良市子どもセンターパンフレット